PoE カメラ共通

マニュアル

本マニュアルは、PoE カメラの接続方法、設定について解説するマニュアルです。
PoE カメラ共通のため、カメラの機種によっては、搭載されていない機能があります。
また、表示画面や文言が異なっていることがありますのでご注意ください。

・内容は、予告なく変更する場合があります。
・本書の無断転載を禁じます。

【免責事項】

・本製品の使用、または使用不能による損害（事業利益の損失）に関して、当社は一切の責任を負いません。
・自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の自己、お客様の故意または過失、誤用、その他の条件での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・当社が関与しない接続機器、アプリやソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤作動や操作不能などから生じる損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
・お客様ご自身または第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品の設置（取付け・取外しなど）により生じた建物の損傷やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

【安全にお使いいただくためのご注意】

警告：下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。
・本製品の分解、改造はしないでください。（火災、感電、故障の恐れがあります）

注意：下記の事項を守らないと自己や他の機器に損害を与えることがあります。
・取付け、取外しの時は慎重に作業を行ってください。（機器の故障の原因になります）
・次のような場所で使用しないでください。
異常な高温（60℃以上）になる場所

1. はじめに

この度は、弊社の製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。PoE カメラ製品を使用する前に、このマニュアルを注意深く読んでください。

【注意】POE カメラの機種、使用するパソコン、使用するブラウザによって本書の画面表示と異なる場合があります。

2. ネットワークセッティング

すべての PoE カメラのデフォルト IP アドレスは、192.168.11.XXX です。初期の IP アドレスは、個体によって異なります。XXX に 3 から 255 までのランダムな数値になっています。カメラがネットワークにスムーズにアクセスできるようにするには、実際のネットワーク環境に基づいて、使用可能なネットワーク設定する必要があります。

なお、プラグ&プレイ機能のある NVR（弊社製 GSA シリーズ、GSP シリーズ）の PoE ポートに接続する場合は、IP アドレスの設定を行う必要はありません。

■Search Tool のダウンロード

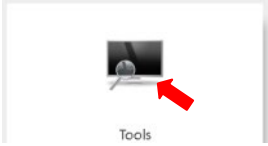
Search Tool は、同じ LAN 内に接続されている POE カメラの IP アドレスを確認、変更するために使用する PC 用のソフトウェアです。

Search Tools をダウンロードするために以下のサイトにアクセスしてください。

http://www.herospeed.net.

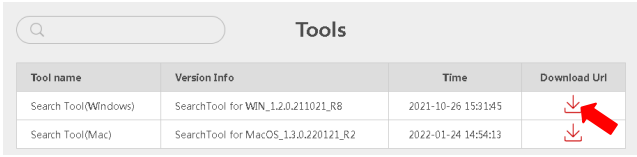
【注意】このサイト及び SearchTool は、英語版のみとなります。

アクセスしたページ中で Tools をクリックします。



赤矢印の部分をクリックして Search Tool(Windows)をダウンロードします。

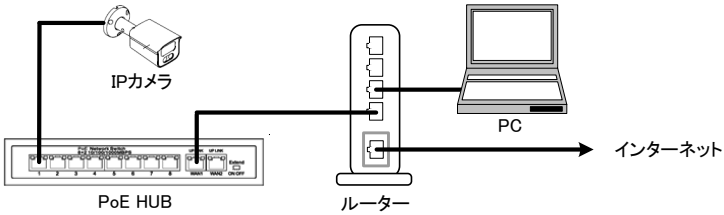
ダウンロードが完了したら、ファイルをクリックしてインストールしてください。[Next]をクリックしていけば、インストールが完了します。



この Search Tool を使用すると接続されている機器の IP アドレスなどの通信パラメータを参照し、変更することができます。

■PC による IP アドレスの設定：

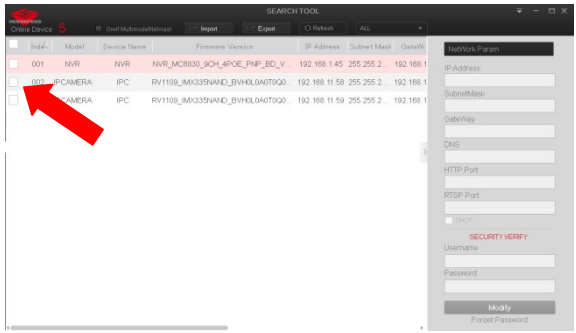
カメラと PC を同じ LAN 内にネットワークケーブルで接続し、電源を入れます。以下に一例を示します。PC のセグメントを変更する必要はありません。



■Search Tool によるカメラの IP アドレスの変更

カメラの IP アドレスは、他のカメラや NVR と IP 衝突していない場合には、特に変更する必要はありません。最初にカメラを 1 台ずつ接続して同じ IP アドレスに設定されているかどうかを確認してください。同じ IP アドレスのカメラがある場合は、IP アドレスを変更する必要があります。

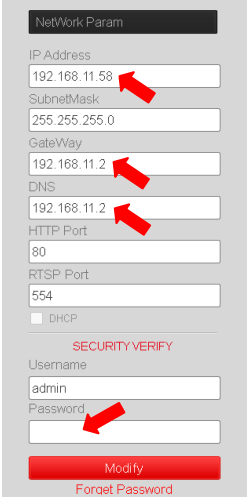
ステップ 1:デスクトップ上の をクリックして Search Tool を起動します。



接続されている機器の一覧が表示されます。

ステップ 2: 設定する POE カメラの左端のチェックボックスをクリックします。

ステップ 3: 画面右側にカメラの現在のパラメータが表示されますので IP Address を他のデバイスと衝突しないように変更します。
このときに Gateway と DNS も変更するカメラと同じセグメントに設定する必要があります。図中の“192.168.11.2”は、弊社製ＧＳＡ／ＧＳＰシリーズのＮＶＲの初期値です。



ステップ 4: Username に[admin]が表示されていることを確認して Password の欄に“admin”を入力します。(デフォルトパスワードは、“admin”です)

ステップ 5: [Modify] をクリックして“Modify Success”が表示されていることを確認して、”X“をクリックしてウインドウを閉じてください。

ステップ 6: 右上の X をクリックして SearchTool を終了して再度、起動して、変更された IP アドレスが見つかれば、アドレス設定が成功したことになります。

【注意】POE カメラがプラグ&プレイのポートに接続されている場合は、プラグ&プレイ機能により、指定した IP アドレスと異なる IP アドレスに設定されることがあります。

3. PC による閲覧

192.168.11.XXX（カメラ出荷時の場合）と同じネットワークセグメント IP（上位 3 つの数字）を PC に設定します。例えば 192.168.11.200 などですが、カメラの IP アドレスとすべて一致すると IP 衝突が発生します。末尾の数値は、カメラと異なる数値にしてください）また、サブネットマスクには、255.255.255.0 を入力してください。

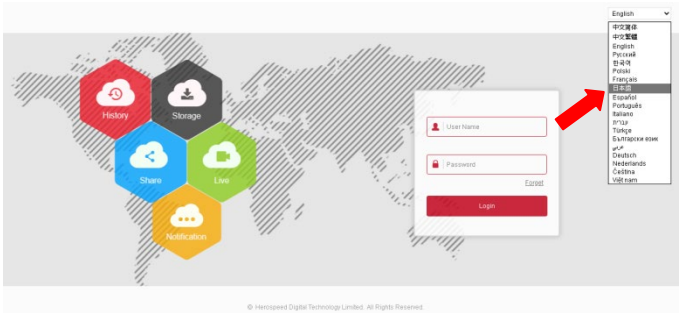
ステップ 1：[ ]スタート→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[アダプターの設定の変更]→[ローカルエリア接続]、右クリックして[プロパティ]→[インターネットプロトコルバージョン 4（TCP / IPv4）]→[プロパティ]をクリックして、インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IP v 4）のプロパティに入ります。

ステップ 2：[次の IP アドレスを使う]をチェックして IP アドレスに 192.168.11.XXX(環境に合わせてください)、サブネットマスクに 255.255.255.0 を入力して [OK] → [閉じる]をクリックします。

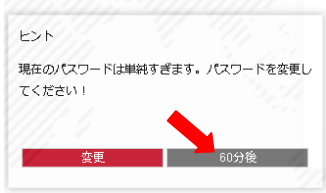
ステップ 3：カメラと PC を同じ LAN 内にネットワークケーブルで接続し、電源を入れます。

ステップ 4: ブラウザ（IE11、Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox を使用してください）を開き、POE カメラの IP アドレスを入力し [Enter] を押します。

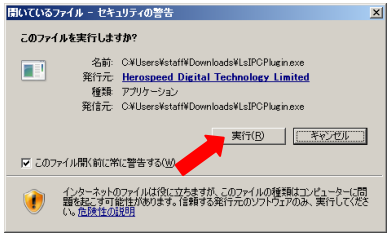
ステップ 5: 最初に画面の右上をクリックして言語を選択してください。次にデバイスのユーザー名（デフォルトは admin）とパスワード（デフォルトは admin）を入力し、[ログイン]をクリックします。



ステップ 6 : [60 分後]をクリックしてパスワード変更をキャンセルします。



ステップ 7 : 画面右上の[ダウンロード]をクリックしてプラグインをダウンロードして、ファルダを開きダウンロードしたプラグインのファイルを実行してください。



ステップ 8 : 次のようなメッセージが表示されますので、ブラウザを閉じてから[再試行]をクリックしてください。プラグインのインストールが開始されます。

ステップ 9 : インストールウインドウが表示されたら[Next]- [Next]-[Next]-[Install]をクリックして、最後に[Finish]をクリックしてください。これでプラグインのインストールは完了です。

ステップ 10 : ブラウザを開いてカメラの IP アドレスを入力してログインしてください。映像が表示されます。

4. 構成

構成を行うカメラにログインした状態で画面上部の[構成]をクリックして各種設定を行います。

ステップ 1：画面上部の[構成]をクリックします

ステップ 2: 画面左にサブメニュー（赤枠内）が表示されます。

ステップ 3：設定したい項目を画面左側のサブメニュー(赤枠内)から選びクリックします。

5. ローカル：パラメータ設定（ローカル構成）

5.1 ローカル：パラメータ設定

■記録ファイルの設定（レコードファイルの保存先）

・保存先
PC に録画する場合の保存先を指定します。[スキャン]をクリックするとマウスで選択できます。

・ダウンロードファイルの保存先
カメラからファイルをダウンロードする際の保存先を指定設定します。

■画像とクリップの設定（ピクチャとクリップの設定）

・スナップショット（上）
ライブビューのスナップショットの保存先を指定します。

・スナップショット（下）
再生画面のスナップショットの保存先を指定します。

・クリップの保存
クリップの保存先を指定します。

■パラメータを導出する（エクスポートパラメータ）

・エクスポートパラメータの保存パス
[文書を導出する。]をクリックすると PC ユーザーのダウンロードフォルダに設定パラメータファイルを出力します。

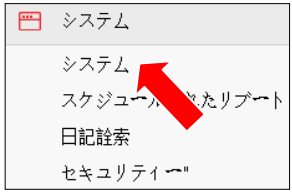
■パラメータをインポートする（インポートパラメータ）

・パラメータ経路を導入する。
[文書を導出する。]をクリックして設定パラメータファイルの存在するフォルダを指定します。

全ての設定を入力が完了後、[保存]をクリックして保存します。

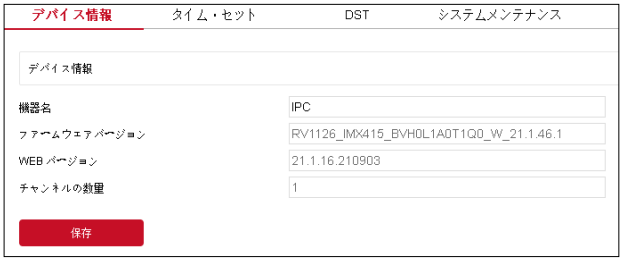
6. システム

画面左の[システム]をクリックすると。以下のメニューが表示されます。



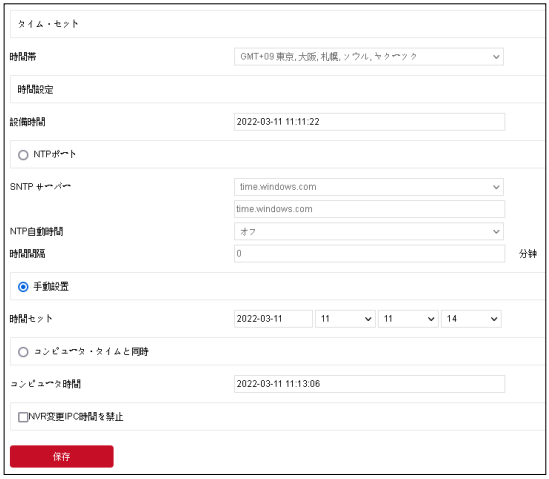
6.1　システム（デバイス情報）

システムをクリックするとデバイス情報画面に遷移して、POE カメラの各種情報が表示されます。この画面では、機器名を変更することができます。



6.2　タイムセット（時間設定）

画面上部の[タイムセット]をクリックすると。以下の画面が表示されます。



■タイムセット

・時間帯

日本は、GMT+09 を選択してください。

■時間設定

・設備時間

カメラの日時設定です。当日の日付と時刻をセットしてください。

○NTP ポート

・SNTP サーバー

NTP を使用する際の接続先サーバーを選択、設定します。

・NTP 自動時間

オンにすると NTP サーバー時間と同期します。

・時間間隔

NTP と同期する時間間隔を設定します。

【注意】NTP との同期を行うためには、カメラがインターネットに接続している必要があります。

○手動設置

・時間セット

手動設置をチェックすると時間を入力することができます。

○コンピュータ・タイムと同時

チェックすると接続しているコンピュータの時間と同期します。

・コンピュータ時間

コンピュータの日時を表示しています。

□NVR 変更 IPC 時間を禁止

チェックすると NVR がカメラの時刻を変更することを禁止します。

6.3　DST（サマータイム）

画面左の[DST]をクリックすると。以下の画面が表示されます。

サマータイムの設定を行います。日本国内では、設定する必要はありません。

6.4　システムメンテナンス

画面上部の[システムメンテナンス]をクリックすると。以下の画面が表示されます。

■システム再起動

[リブート]をクリックするとカメラを再起動します。

■既定値に戻す

[簡易復旧]をクリックするとネットワークパラメータを除く設定値が工場出荷状態に戻ります。

[完全復旧]をクリックするとネットワークパラメータを含む全てのパラメータが工場出荷時設定に復旧されます。（IP アドレスが変更され、実行後にアクセスできなくなります。）

■ファームウェア

事前に入手したファームウェアのファイルの場所を指定してアップグレードを行います。[スキャン]をクリックしてファイルを指定して[アップグレード]をクリックするとして開始します。

■オンラインアップグレード

現在のバージョンを表示しています。インターネットに接続している場合は、[チェック]をクリックするとオンラインアップグレードを開始します。

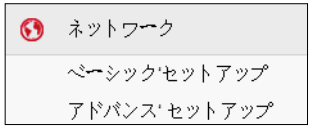
【注意】アップグレードは、いずれの場合も時間が 1~8 分かかります。アップグレード完了前にカメラの電源を切ると故障することがあります。アップグレードが完了すると自動的に再起動しますので、それまでお待ちください。

7. ストレージ（使用できません）

ストレージ機能は、サポートされていません。

8. ネットワーク

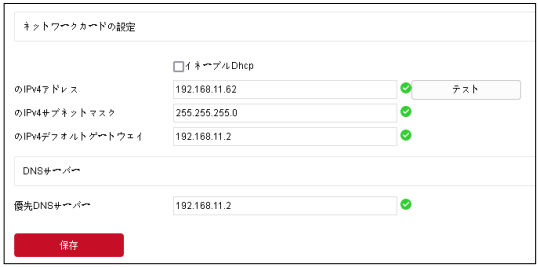
画面左のサブメニューの[ネットワーク]をクリックすると以下のメニューが表示されます。



8.1 ベーシック・セットアップ（基本的なセットアップ）

■TCPIP

[ベーシック･セットアップ]をクリックすると TCP/IP のネットワークカードの設定画面が表示されます。



・□イネーブル Dhcp
□をチェックすると DHCP によるネットワーク設定が自動的に設定されます。手動で IP アドレス以下の設定ができなくなります。

・IP アドレス
手動で IP アドレスを入力します。IP アドレス入力後、[テスト]をクリックすると設定した IP アドレスが他の機器と衝突していないか確認できます。
設定内容をすべて入力したら[保存]をクリックして設定値を保存してください。

【注意】IP アドレスを変更直後からは、新しい IP アドレスに接続してログインすることになります。

■ポート

画面上部の[ポート]をクリックするとポートの設定画面が表示されます。

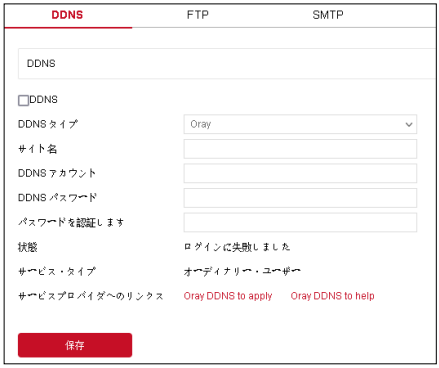
画面表示のように各ポートの番号を設定します。入力後、[保存]をクリックして保存します。

【注意】　□ONVIF プロトコルが有効のチェックをはずすと ONVIF プロトコルによる接続ができなくなりますので、通常は、チェックを入れておいてください。

8.2　アドバンス・セットアップ

■DDNS

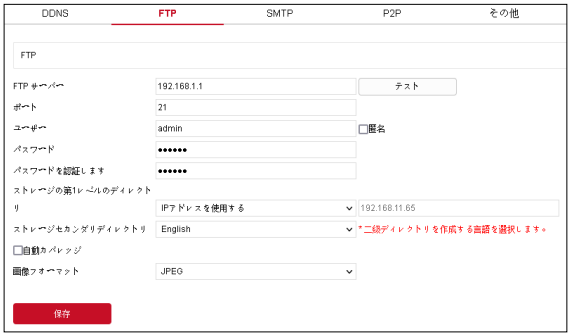
画面の左の[アドバンス・セットアップ]をクリックすると DDNS の設定画面が表示されます。DDNS サービスを利用する場合に設定してください。



DDNS タイプを選択して、各種パラメータを入力して[□DDNS]にチェックして[保存]をクリックして保存します。

■FTP

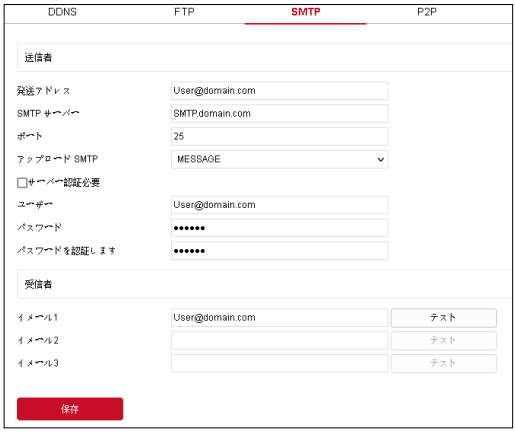
画面上部の[FTP]をクリックすると FTP 設定画面が表示されます。FTP サーバーにデータを格納する場合に設定してください。



FTP サーバーに IP アドレスを入力して、ログインに必要な条件を設定して[保存]をクリックして設定内容を保存してください。

■SMTP

画面上部の[SMTP]をクリックすると SMTP 設定画面が表示されます。カメラからの通知を E メールで送信する場合に設定してください。



使用するメールアドレス、SMTP サーバー名、ログインに必要な条件等を入力して、[保存]をクリックして設定内容を保存してください。

■P2P

画面上部の[P2P]をクリックすると P2P 設定画面が表示されます。スマホまたは、PC で遠隔地から Bitvision を介して閲覧する場合に設定してください。

スマホのアプリは、右側の QR コードからダウンロードすることができます。

□Bitvision をチェックして[保存]をクリックしてください。

接続状況：の部分に"接続に失敗しました"と表示されている場合は、カメラがインターネットにアクセスできない環境であることを意味します。カメラを接続しているネットワーク環境を確認してください。

■その他

画面上部の[その他]をクリックするとその他の設定画面が表示されます。この画面では、暗号化関係の設定を行います。

必要に応じてチェックして[保存]をクリックして保存してください。

■PPPOE

画面上部の[PPPOE]をクリックすると PPPOE の設定画面が表示されます。この画面では、PPPOE の設定を行います。

既にインターネット接続環境がある場合は設定の必要はありません。必要に応じて設定してください。

■SNMP

画面上部の[SNMP]をクリックすると SNMP の設定画面が表示されます。SNMP によるネットワーク監視を行う場合には、必要な設定パラメータを入力して[保存]をクリックして保存してください。

9. ビデオ

この項目では、映像と音声の設定を行います。

9.1 ビデオ

画面左側のサブメニューで[ビデオ]をクリックすると以下のメニューが表示されます。

[ビデオ]をクリックすると映像関係の各種設定を行う画面が表示されます。

・ストリームタイプ

ここでは、設定するストリームの種類を選択します。選択できるストリームはカメラによって異なりますが、通常 2~3 種類が選べます。ストリーム 1 がメインの映像ストリームで最も画質を高く設定できます。

・ビデオ符号化

データ圧縮の方式を選択します。圧縮効率は、高い順番は、H.265、H.264、MJPEG となります。録画装置のタイプに合わせて選択してください。

・解像度

解像度は、カメラによって異なります。データ量を節約したい場合は、低い解像度を選択することができます。

・フレームレート
フレームレートは、カメラによって選択の幅が異なります。数値が大きいほど映像がなめらかになりますが、データ量が多くなります。

・ビットレート
ビットレートは、ストリームのデータ量を決定しますが、H.264/265 の場合は、可変ビットレートなので映像の内容によって大きく変動します。数値を下げると画質が極端に悪化することがありますので、初期値より数値を下げないで使用することをお勧めします。

・レートコントロール
レートコントロールは、時間あたりのデータ量を固定するか、映像によって可変にするかを選択します。ビデオ符号化で H.264 または H.265 を選んだ場合は、VBR になります。

・私は間隔をフレーム（I フレーム間隔）
Ｉフレーム間隔は、動画データ中に含まれる静止画フレームの間隔を調整します。H.265/264 の場合は選択できません。

・H265＋/H264+
ビデオ符号化でＨ265 またはＨ264 を選択している場合は、有効にすることによってさらにデータ圧縮効率を向上させることができます。

・ウォーターマーク（透かし）
ウォーターマークとは、動画の中に透かし文字を挿入することでデータの作成元等の情報を埋め込みます。この機能をオンにすると次のウォーターマーク名称で設定した文字を挿入します。

・ウォーターマーク名称
ウォーターマークに挿入する文字列を入力します。

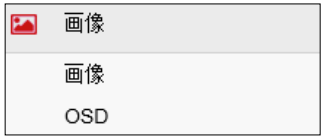
9.2　可聴周波数（オーディオ）

画面左側のサブメニューで[ビデオ]をクリックしてさらに表示された[可聴周波数]をクリックするとオーディオ設定を行う画面が表示されます。カメラにマイク等のオーディオ機能が無い場合には、この機能は表示されません。

・□オープンオーディオの□にチェックして保存することでオーディオ機能が有効になります。
・オーディオエンコードは、NVR などの録画機器がサポートしている方式を選択してください。
・入力レベルの右側のスライドボリュームの位置を調整して音量を設定してください。0 から 100 までの数値を設定します。

10.　画像

画面左側のサブメニューで[画像]をクリックすると以下のメニューが表示されます。



10.1　画像

■画像調整

画面左側のサブメニューで[画像]をクリックしてさらに表示された[画像]をクリックすると画像調整の画面が表示されます。

・輝度（明るさ）、コントラスト（対照）、飽和（彩度）、シャープネスをそれぞれ 0 から 255 まで調整できます。左側の画面を参照しながら最適値になるように調整してください。

■露出設定

[露出設定]をクリックすると露出設定画面が表示されます。

・露光モード

オート：自動的にシャッター速度とゲインを調整します。

マニュアル：手動でシャッター速度、ゲインを調整します。

自動利得（ゲイン）のチェックを外すとゲインも調整可能です。

【注意】通常は、[オート]に設定してご使用ください。マニュアルの調整は、上級者向け作業なので、慎重に行わないと画面が大きく乱れることがあります。

■バックライト(逆光)の設定

[バックライト]をクリックするとバックライト設定画面が表示されます。

・バックライトコンペンセーション（逆光補正）

オン：逆光補正を有効にします。映像の状態から自動的に補正を行います。

オフ：逆光補正を無効にします。強い光と暗い部分の映りを手動で調整できます。

・バックライト

逆光補正の強度を最小限、ミディアム(中)、マックス（最大）の 3 つから選びます。

・強い光抑制

強い光を抑える機能のオン、オフを選びます。

・強い光抑制強度

強い光を抑える強度を 0 から 255 までの数値で設定します。

・ダークエリアリフティング強度

映像の暗い部分を明るくする強度を 0 から 255 までの数値で設定します。

■デイアンドナイト（昼と夜の切り替え）

[デイアンドナイト]をクリックするとデイアンドナイト設定画面が表示されます。

デイモード、ナイトモードの切り替えの設定を行います。
・光モードを埋めます（モード設定）
自動：周囲の明るさから自動的に切換えを行います。
昼間：補助光を点灯しない昼のモードに固定します。
夜：常に補助光をオンします。
時間:時刻で切換えを行います。夜明けの時刻と暗くなる時刻を設定します。
白色光輝度：補助光の輝度を 0 から 100 の数値で設定します。

■ホワイト・バランス
[ホワイト・バランス]をクリックするとホワイト・バランス設定画面が表示されます。

映像のホワイト・バランスの設定を行います。

・ホワイト・バランス
オート、マニュアルを選択します。マニュアルを選択した場合は、レッド、グリーン、ブルーのゲインを 0 から 255 までの数値で設定します。

■ビデオ調整（ノイズリダクション）
[ビデオ調整]をクリックするとビデオ調整設定画面が表示されます。

・デジタルノイズリダクションモード
自動、手動 2D ノイズリダクション、手動 3D ノイズリダクション、手動 2D/3D ノイズリダクションの４モードがあります。手動を選択した場合は、下のスライドボリュームで強度を 0 から 255 までの数値で調整します。

■イメージアップ（画像強調）
[イメージアップ]をクリックするとイメージアップ設定画面が表示されます。

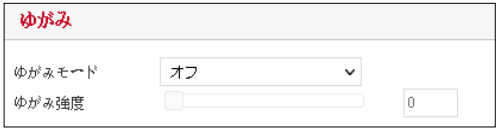
・フリッカコントロール
蛍光灯による照明などで映像にフリッカ（縞模様や点滅）が発生する場合に変更します。NTSC(60Hｚ)と PAL(50Hｚ)を選択します。
・WDR（ワイドダイナミックレンジ）
WDR は、映像内に極端に明るい部分と暗い部分がある場合に白とびや黒つぶれが発生しないように調整する機能です。この調整の強度を選択します。シャットダウン（オフ）、自動、弱、中、強、最強が選択できます。

【注意】カメラによっては、WDR 機能がない場合もあります。

■防曇モード（デフォッグモード）
[防曇]をクリックすると防曇設定画面が表示されます。霧がかかったような映像の場合に、この機能をオンにすることではっきりとした映像になることがあります。

・防曇モード
オフ、オン、オート（自動）が選択できます。
・防曇強
防曇モードがオンの場合にスライドボリュームを動かして防曇機能の強度を 0 から 255 の値に調整します。

■ゆがみ（歪み）
[ゆがみ]をクリックするとゆがみ設定画面が表示されます。

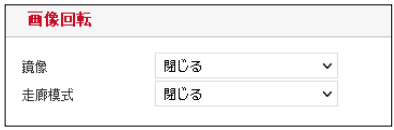


画面の両サイドのゆがみを補正します。
・ゆがみモード
　オン/オフを選選択します。

・ゆがみ強度
　ゆがみモードがオンの場合にスライドボリュームを動かして補正強度を 0 から 255 の値に調整します。

【注意】カメラによっては、強度の調整がない場合があります。また、設定を保存した時に再起動するカメラもあります。

■画像回転
[画像回転]をクリックすると画像回転設定画面が表示されます。



この画面では、映像の上下左右反転、廊下モードの設定を行います。廊下モードは、映像を縦長画面で表示したい場合に設定します。

・鏡像（ミラーリング）
　映像の反転を行います。閉じる、水平、垂直、水平と垂直を選択します。

・走廊模式（コリドーパターン）
　廊下に沿って撮影する場合など縦長の画面を表示させたい場合に設定します。
　閉じる、90 度、270 度を選択します。角度を選ぶと映像が時計まわりに回転します。

10.2　ＯＳＤ（オーバーレイ設定）

画面左側のサブメニューで[画像]をクリックしてさらに表示された[ＯＳＤ]をクリックするとＯＳＤの設定画面が表示されます。

・□時間
時間をチェックすると映像上に日時、時刻を表示します。

・□ＯＳＤテキスト
チェックすると OSD テキストボックス内の文字を映像上に表示します。

・□週を表示
週をチェックすると映像上に曜日を表示します。言語は、English、中国語が選べます。

・日付形式
YYYY/MM/DD、MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY が選択できます。

・OSD の場所
OSD を表示する場所を設定します。左上、左下が選択できます。

・OSD テキストボックス
ボックス内に表示したい文字を入力します。日本語も入力できます。

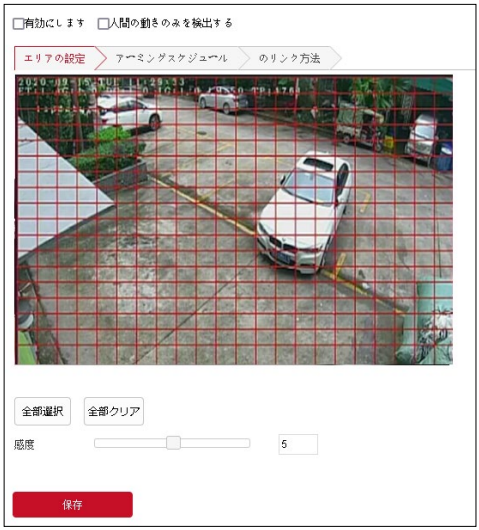
11.　イベント

画面左側のサブメニューで[イベント]をクリックすると以下のメニューが表示されます。

11.1　普通のイベント（通常のイベント）

■動作検出（モーション検出）

画面左側のサブメニューで[普通のイベント]をクリックすると動作検出の設定画面が表示されます。



・エリアの設定
　表示されたカメラの映像をマウスでクリックしながら移動すると赤い□が表示され、動体検出エリアを設定できます。再度クリックすると□を消去します。

・□有効にします
　チェックすると動作検出が有効になります。

・□人間の動きのみを検出する。

　チェックすると人間の動きのみを検出します。この機能は、人体検出機能のないカメラでは表示されません。

・全部選択
　クリックすると全画面を検出エリアに設定します。

・全部クリア
　クリックすると全ての検出エリアを消去します。

・感度
検出感度をスライドボリュームで 0 から 10 まで設定します。

・アーミングスケジュール
動作検出を行う時間帯を設定します。

マウスを使用して各曜日の緑のバーの長さを調整して保存します。1 日の中を複数に区切ることもできます

・リンクの方法
検出時に行う動作を設定します。

□正常な結合：全てのリンクにチェックを入れます。
□アップロード SMTP：メールサーバーにリンクしてメールを送信します。
□FTP をアップロード：FTP サーバーにリンクしてファイルを送信します。
□アップロードクラウド：ファイルをクラウドに送信します。

11.2　プライバシーマスク

映像の一部にマスクをかけます。

マウスを使用して映像のマスクをかけたい部分をクリックしたまま移動させると四辺形が描かれマスク領域が設定されます。その際に各リージョンの X,Y,W,H に座標の数値が入力されます。[デリート]をクリックすると削除できます。最大 3 箇所まで設定できます。設定が完了したら[保存]をクリックして保存してください。

11.3 改ざん

改ざんは、カメラのレンズを覆う、向きを変えるなど映像が大きく変化したことを検出してカメラの異常を通知する機能です。

マウスを使用して映像の検出領域をクリックしたまま移動させると四辺形が描かれ改ざん検出領域が描画されます。
[全部クリア]をクリックすると検出領域が削除されます。感度は、0,1,2 が選択できます。
[□有効にします]をチェックすると改ざん検出機能が有効になります。

・アーミングスケジュール
改ざん検出を行う時間帯を設定します。

マウスを使用して各曜日の緑のバーの長さを調整して保存します。1 日の中を複数に区切ることもできます。

・リンクの方法

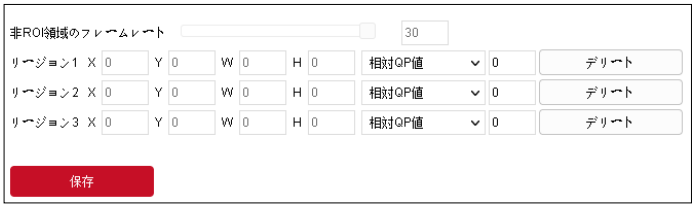
□正常な結合：全てのリンクにチェックを入れます。
□アップロード SMTP：メールサーバーにリンクしてメールを送信します。
□FTP をアップロード：FTP サーバーにリンクしてファイルを送信します。
□アップロードクラウド：クラウドにファイルを送信します。

11.4　異常 /例外(この機能は使用できません)

本機能は、カメラに I/O 出力がある場合に動作する機能なので使用できません。

11.5　ROI（投資収益率）

ROI は、重点的に見たい領域を指定してその部分の画質を向上させる設定を行います。この設定は、上級者向けの設定です。設定よっては、データ量が増加することがあります。



非 ROI 領域のフレームレートは変更できません。
映像をマウスでクリックしたまま移動させることでリージョン（領域）を 3 箇所まで設定できます。相対 QP 値または QP 絶対値を選択して数値を入力します。

12.　スマートイベント（この機能は使用できません）

スマートイベントは、カメラ単体で設定することはできません。スマートイベント（インテリジェント検出）をサポートしている NVR から設定して利用してください。